

旧市庁舎及び旧安芸中学校跡地活用に関する基本計画(案)
パブリックコメントで提出された意見及び回答

実施日時 令和7年6月2日(月)～令和7年6月30日(月)
対象者 市民の皆様(通勤・通学者含む)
公表した資料 旧市役所庁舎及び旧市立安芸中学校跡地活用基本計画(案)、基本計画(案)概要版
意見提出者数 8名

番号	跡地施設	意見(趣旨)	市の考え(案)
1	旧市庁舎	旧市役所跡地についての意見募集がありましたので一市民の私の考えを書いてみます。 ずっと以前から思っていたのですが、県西部には大型のみちの駅がいくつもありにぎわっているのに東部には小さい物しかないことです。 安芸駅のみちの駅を大型にしてもっと人を寄込みませんか？ 大型バスもはいる広い物ができたらいいと思います。 今やみちの駅をめぐるツアーなどもあるように遠くからでもどんどん来てくれると思います。 大型になれば雇用も生まれますし、安芸市の活性化になるのではないのでしょうか。順に食事所などもできれば、なおいいと思います。	旧市役所庁舎跡地は、市街地の中心部に位置しており、土佐ろしお鉄道ごめん・なはり線安芸駅に近接しているほか、国道55号に面しているなど、良好な交通アクセスにも恵まれています。 これら特性を生かし、「多様な世代が交流し、賑わいやつながりを醸成する空間」とすることを基本理念としており、文化ホール、図書館、コミュニティ機能などの公共施設を複合化・集約化することで、子どもから大人まで幅広い世代が利用し、多様な交流が生まれることによる新たな賑わいの創出を目指しています。 一方で、「道の駅」としての活用については、旧市立安芸中学校跡地での可能性を検討してまいりました。 旧安芸中学校跡地は、整備が進む阿南安芸自動車道安芸中インターチェンジ(以下、ICとする)に近接することから、良好な交通アクセス性を生かすことで、市外から多くの入込客が見込めると期待しています。また、令和6年度に実施しました、民間企業への活用意向調査においても、道の駅や地場産品の販売機能は旧安芸中学校跡地と親和性が高いという意見が示されています。 しかしながら、現状では、安芸中ICの開通時期が未定であるため、一定の目途が見込まれる段階まで旧安芸中学校跡地活用の検討は延期としますが、地域の変化を捉えながら、まちにとって最適な施設を整備できるよう、引き続き検討してまいります。
2	旧市庁舎	旧市庁舎跡地についてです。駅が近くにあり交通の便が良い場所にあるので、安芸市以外からも人が集まるような新しい観光名所になってほしいです。たとえば、ひろめ市場みたいのに有名な飲食店が入った店を誘致してほしいです。飲酒しても自動車移動でき、市外、県外からも入込客数が増えると思う。今のままでは若い人の流出は止められないと思う。20代の子供が3人いるけど安芸では飲食せず、野市、高知方面にわざわざ食べに行ったりしている。市民会館、図書館も大事ですが、安芸市以外から人を呼びこむには魅力的な飲食店だと思ふ。ごめんなはり線を利用する人が今よりも増えて黒字になるようにぜひ、検討をお願いします。	本事業では、旧市庁舎跡地を活用して新たな賑わいを創出し、施設の周辺地域のみならず、将来のまち全体の活性化に寄与することを目指しております。 基本計画(案)においては、文化ホールや図書館、コミュニティ機能などの公共施設を集約するだけでなく、賑わいを生み出す要素として、カフェやショップなどの民間商業機能の導入も検討しています。 民間企業への参入意向調査においても、公共施設に飲食機能が付加されることは、サービス向上や新たな利用者の確保に有効であるという意見が多数寄せられた一方で、商圏人口や収益性への懸念、さらには地元事業者への影響に十分配慮する必要があるとの指摘も確認しております。このため、大規模な飲食施設の整備は慎重な検討を要しますが、小規模な商業機能であれば一定の可能性があると認識しております。 今後は民間事業者からの提案内容を踏まえつつ、文化ホールや図書館といった市内外からの利用が見込める施設に加え、魅力的な飲食機能を含む小規模な商業機能を複合的に整備することで、多様な世代が交流し、市外からの入込客も期待できる、賑わいと活気にあふれる安芸市のシンボルとなる施設を目指してまいります。
3	旧安芸市庁舎校	<安芸市らしい都市計画のコンセプトが必要> ・本市庁舎及び安芸市中学校跡地活用の基本計画から、安芸市らしいコンセプトが感じられませんでした。また、それぞれの施設には関連性が全くないと感じられました。 本計画の例にも出ている須崎市は「海のまちプロジェクト」として須崎の資源である海をテーマにした総合的なまちづくりを行って、須崎市らしいコンセプトを感じます。海のまち図書館、魚市場及び、グランピング施設の整備事業など、生涯学習から商工観光水産までひとつのコンセプトで統一された計画となっています。安芸市も、安芸市らしいコンセプトを打ち出し、旧市庁舎及び旧安芸中学校跡地活用を、今取り組んでいる中心商店街の空き家・空き店舗活用や観光振興事業などと関連づけながら、一体感のある総合的な事業計画を作って実行してほしいです。 ・安芸市のコンセプトとしての良例は、安芸市流域森づくり構想に掲げられている「安芸らしさ」だと思います。安芸市は、源流点から海までが繋がる全国的にも珍しい地域です。森川海の自然の恵みをベースに歴史文化が育まれた安芸市。それが感じられる施設として、旧市庁舎及び旧安芸中学校跡地の展開があると市民に伝わりやすいと思います。森林資源が豊かなので、安芸市の木材をふんだんに使って建設する、安芸市の森川海の生態系が学べる博物館機能や自然環境関係の図書が充実している図書館が複合施設内にあるなど、コンセプトがあればいろいろと枝葉に広げていけると考えます。 ・また、オーテピアや檜原の図書館のように、安芸市民だけでなく、市外の人々もわざわざ来て利用したくなるような施設になってほしいです。そうなれば経済波及効果につながると思います。安芸市の特徴として、武家屋敷のある武家町と、海辺の商家町が離れた少し変わった城下町の形成もあげられます。その特徴的な歴史的エリアや中心商店街を、観光や買い物、食事などの拠点とし、旧市庁舎及び旧安芸中学校跡地の新施設からの周遊を促すことも本計画に視点として入れてほしいです。	ご指摘のとおり、まちづくりにおいて「地域らしさ」をどう表現するかは重要な視点であり、須崎市の「海のまちプロジェクト」のように、統一的なコンセプトを掲げた事例は参考になるものと認識しています。 一方で、本計画は、令和2年度から4年度までに実施した「市役所庁舎及び市立安芸中学校跡地活用検討委員会」における報告書を出発点としています。同委員会では、市民アンケートやワークショップを通じて幅広い市民意見を集約し、その結果、旧市庁舎跡地では老朽化が著しい図書館や文化ホール(市民会館)、多世代が集う複合施設が挙げられており、旧安芸中学校跡地では既存施設を活用したスポーツや学びなど、新たなチャレンジを創造する活用方法が挙げられております。 こうした市民ニーズを踏まえ、両跡地が担う役割を体現していくことが「安芸市に合った」、つまり「安芸市らしさ」になると考えております。加えて、本市が持つ「森・川・海のつながり」や「歴史や文化」などの特色は、今後の民間公募による施設設計や運営に関するアイデアの中で具体化し、安芸市ならではの魅力として磨き上げていくことができると考えております。 また、両跡地はそれぞれ異なる特性を持ちながらも、基本構想・基本計画においては「回遊性の創出」や「中心商店街・観光資源との運動」といった視点を盛り込んでおり、単独の施設整備にとどまらず、まち全体を有機的につなぐ関連性を持った計画としています。 今後、中心商店街や地域事業者・団体とのワークショップ等を通じて、新複合交流施設と地域が連携し、市民が実感できる「安芸市らしさ」を体現できる取組を進めてまいります。
4	旧市庁舎	<図書館は文化拠点として大事。複合施設のひとつ、ではなく、単体でしっかり考えてほしい> ・安芸市の現状の図書館には不満を持っています。施設自体が古いものもありますが、本棚に並ぶ本が古く、読みたい本が少ない印象です。今棚にある本のほとんどは、書庫に保管しておくレベルの古さだと思います。芸西村図書館の方が新しい本が常に本棚に並んでいて、充実していると感じ、近隣の図書館としてよく利用しています。一番利用しているのは、県内で最も本が充実しているオーテピアです。司書が33名いるようで、本を探す際の的確な回答がもらえ、本の管理も行き届いています。香美市の図書館もリニューアル時に司書を7名配置したと聞きます。司書がきちんと本を管理し、定期的に新書を購入していることが図書館機能としては必須なので、図書館機能をきちんと備えた文化施設になるように計画してほしいです。 ・今ある本の整理も大切です。古い本は書庫に保管し、依頼があったら出してくるようにすべきなので、書庫も施設内に構えるべきだと考えます。書庫に貯蔵する本と、棚に並べる本の違いは私には今わかりませんが、オーテピアなどの仕組みを習ってほしいです。 ・図書館は、今、コミュニティスペース、サードプレイスとしての役割を持つようになっています。昔のように話してはいけない場所ではなく、オーテピアが取り入れているような飲み物を飲んでOK、話してもOK、Wifiが使え、インテリアもおしゃれなど、まずはいきたくなる場所になるべきだと思います。それが本を借りたり、図書館で勉強する機会につながり、市民や子どもたちの文化度や学ぶ力を高め、学力も高めると考えます。 ・「安芸ライブラリーホール」のように、図書館があることが目立つネーミングがいいと思います。図書館に力を入れている市町村は、文化度が高いと感じるからです。	ご意見として承り、今後の検討の参考とさせていただきます。 近年の県内自治体においても、図書館の魅力化を核としたまちづくりの取り組みが進んでおり、市民の利用にとどまらず、市外からも多くの利用者が訪れる事例が見られます。このことから、魅力的な図書館の整備は、まちの活性化に資する重要な要素であると認識しております。 本市においても、図書館は新複合交流施設の中心機能として位置付けられており、民間提案による柔軟な発想を活かしつつ、現代に応じた利用しやすい環境へのリニューアルを進めます。単に本を読む場所にとどまらず、多様な学びや交流の場として、多世代にとって魅力的な施設となることを目指してまいります。

番号	跡地施設	意見(趣旨)	市の考え(案)
5	旧市庁舎	<p><女性の家のプロジェクトの一環で、だれでも使えるシェア加工場ができないか> 旧市庁舎の複合施設にシェア加工場ができることを希望します。安芸市の女性などで、商品開発をして加工品を作って小さな事業をしたい人がたくさん周りにいますが、加工品製造の営業許可をとった施設でないと加工品が作れません。個人で加工場を構えるには投資規模が大きく、女性の仕事づくりの足枷となっています。シェア加工場があれば、いろいろな人が小さな事業を始められ、安芸市の商品・お土産づくりにもつながり、市民のビジネス、女性の活躍の応援にもつながると思います。調理実習室だけでなく、もうひとつレベルの高い加工場をみんなが利用できる仕組みを検討してほしいです。</p>	<p>ご意見のとおり、地域の女性をはじめとする方々が小規模事業を立ち上げ、商品づくりに取り組む意欲は、まちの活力の源であり、大変心強く感じております。</p> <p>一方で、旧市庁舎跡地活用の基本理念においては、文化ホール・図書館・子育て支援・交流スペース・商業機能など、幅広い市民の利用を想定した機能を中心に配置することとしております。ご提案の「シェア加工場」は、特定の事業活動や利用者層に重点を置く施設であり、主要機能との整合性や性質の違いから、現時点では施設内への設置は計画していません。</p> <p>しかしながら、地域産業振興や女性の活躍支援は本市にとって重要な視点であるため、今後は商工部門や産業振興施策等との連携の中で検討すべき課題であると認識しております。新複合交流施設では、地域事業者や団体と連携したイベントや商業機能の導入を通じ、こうした新たなチャレンジを後押しする機会を提供してまいります。</p>
6	旧市庁舎	<p><地震津波防災啓発拠点の役割> 旧市役所の複合施設は老若男女が集まる場になると思います。市街地には、たくさん人が働き住んでいますが、万が一のときの、自主防災の意識は低いと思います。定期的な防災イベントを複合施設で行い、日頃からの意識づけができる場としての役割も加えてほしいです。</p> <p>また、震災時の避難のため、駐車場の確保のため、ピロティ付きの建物の方がより安心感があるため希望します。ピロティ付きの建物にしたら、その分、建物の敷地面積が広げられ、ホールのキャパも増やすことができるのでいいのではないのでしょうか。</p>	<p>ご意見として承り、今後の検討の参考とさせていただきます。</p> <p>旧市庁舎跡地に整備を予定している新複合交流施設におきましては、防災機能を基本機能の一つとして位置づけており、ご指摘のとおり「日頃から防災意識を高める場」としての役割も重要であると認識しております。そのため、民間活力を導入する中で、定期的な防災イベントや体験型啓発活動などの提案を積極的に取り入れ、誰もが安全・安心に利用できる施設を目指してまいります。</p> <p>また、建物構造に関する「ピロティ形式」については、避難スペースや駐車場確保といった利点がある一方、耐震性や建設コスト、防災拠点としての機能配置などの課題も併うため、基本計画では前提としておりません。ただし、今後のPFI手法による民間提案の中で、防災上合理的で安全性を担保する設計や1階の開放性確保といった工夫について、多角的に検討してまいります。</p>
7	旧市庁舎	<p><PFI方式で進めるのはよいですが、最も大切なのは運営会社だと思います> どういった会社を運営会社にするかでその施設の今後が決まると思います。具体的には、PFI方式で進めた際どのような会社が運営会社候補になるのか知りたいです。県内企業も含むのか、県外大手企業がメインなのでしょうか。同じような自治体の事業を多く受託している県外事業者が運営会社になると、安芸市の事業へ全力を注いでもらえないことが懸念されるので、運営会社は慎重に選んでほしいです。</p>	<p>ご意見のとおり、施設整備後の維持管理や運営を担う事業者の役割が極めて重要であり、事業の成果に大きく影響するものと認識しています。</p> <p>事業者選定にあたっては、県外大手事業者のみを想定しているものではなく、県内外を問わず、地域との協働に積極的で、本市のまちづくりに貢献できる体制を構築できる事業者グループを重視したいと考えております。</p> <p>また、今後のプロポーザル公募におきまして、提案内容の評価基準に「地域連携」「持続的な運営体制」といった要素を明確に位置づけるなど、地域に根差した運営がなされるよう、慎重に選定を行ってまいります。</p>
8	旧市庁舎	<p><室内で子どもが楽しめる知育施設を併設してほしい> 安芸市には公園が多く、特に、ナス公園は多くの子どもたちで賑わっています。しかし、最近では、猛暑日が多く、夏、外で遊ぶことの危険性が高まっています。また、雨の日に遊びに出かけられる場所が安芸市にはありません。そこで、施設内に、夏や雨の日に遊べて、学べる、知育施設を併設してほしいです。部活動がまだない小学生までが対象のイメージです。佐川おもちゃ美術館に雨の日に行きましたが、大勢の親子連れで賑わっていました。そのような親子で行きたい施設があれば、自然と市民が集まる場所になると思います。その帰りに本を借りたり、自然の展示をみたりできるので、学びの機会が広がるのもメリットです。</p>	<p>ご意見のとおり、夏季の猛暑時や雨天時に、子どもたちが安心して集まり活動できる場所の必要性を認識しております。</p> <p>新複合交流施設の基本方針には、子育て支援や子どもの遊び場機能の充実を掲げており、具体的には雨天や酷暑でも遊べる「プレイルーム」の整備を検討しております。</p> <p>これらの空間は、図書館の子ども向けスペースと合わせて整備するなど、子どもたちのサードプレイスやクーリングシェルターとしての居心地の良い環境を創出することを目指しています。こうした施設により、多くの市民が自然に集まり、本を借りたり、学びに触れたりできる相乗効果のある施設となることを期待しております。</p>
9	旧市庁舎	<p><市民の意見をもっととりいれてほしい。ワークショップなどを開催してみんなで作る施設にしてほしい> 図書館や市民会館は、私も子供の頃から使っていて、リニューアルされる際は市民に愛される場になるかつ、全国から注目されるような先駆的な取り組みをする施設になってほしいと願います。同じように図書館や市民会館に思い入れや、こうゆう機能がほしいという思いがある人がたくさんいると思います。今の計画には、市民のこんな施設になってほしいという声が反映されていないように感じます。市民との話し合いをもっと重ねて、みんなが求める、行きたくなくなる施設に磨き上げてほしいです。</p>	<p>ご意見として承り、今後の検討の参考とさせていただきます。</p> <p>当該基本計画の作成にあたり、これまでにも市民アンケートや市民ワークショップなどを通じて広くご意見をいただき、計画に反映してまいりました。本施設は、長年市民の皆さまに親しまれてきた図書館や市民会館等の機能を継承しつつ、基本理念に基づく複合交流拠点として整備を進めております。</p> <p>施設に配置する具体的な機能につきましては、今後の民間提案による柔軟なアイデア等を基に具体化してまいります。現代に応じた利用しやすい環境へリニューアルできるように取り組んでまいります。</p> <p>また、施設整備後の運営の検討にあたっては、地域事業者・団体の皆さまが連携主体となり、新たな取組やアイデアについて検討いただくワークショップを開催するなど、引き続き施設が「みんなで作る場」となるよう取り組んでまいります。</p>
10	旧安芸中学校	<p><安芸市中学校跡地活用は、スポーツ合宿施設メインがよいと考えます> ・安芸市はスポーツ誘致をしていて、いろいろな大会もしていますが、大学女子野球の際など、泊まれるキャパの宿が安芸市内になく、選手の多くが高知市内に宿泊していると感じます。これでは、なんのために大会をしているのか、本末転倒です。また、東部観光協議会が修学旅行を受け入れていますが、修学旅行の学生の宿泊施設も足りてないかと思えます。</p> <p>サテライトオフィスを誘致する施設などにするよりも、今現状、安芸市に需要がある大人数用の宿にするのが的策かと考えます。今安芸市にある民宿は1施設10-20人ほどしか泊まれないので競合にならないため、地域の自業者も守れると思います。しかしながら、オフシーズンは、利用者がいなくなるため、民間調査の声にもあったように、民間単独での運営は厳しいです。安芸市の指定管理施設にして貸し出すなどのサポートが必要かと思えます。</p> <p>・元気風呂の改修の話が出ていますが、中学跡地を宿にする際に浴場が必要となるので、一般の人も入れるようにし、元気風呂の機能を移転するという方法も考えられるかと思えます。(しかしながら、余談にはなりますが、元気風呂を海が美しく見える公衆浴場としてもっと高級感があるように改修すれば、元気風呂目的で人を呼び込め、利用率UPが可能になると思っています。)</p>	<p>ご意見として承り、今後の検討の参考とさせていただきます。</p> <p>旧安芸中学校跡地は、今後整備される高規格道路のインターチェンジに近接しており、市外からの来訪者を受け入れる拠点としての可能性を有しています。また、民間意向調査においても、旧市庁舎跡地と比べて商業機能としての活用可能性が高いことが示されており、安芸中インターチェンジの整備時期が明確になれば、スポーツやビジネス、子育て世帯を対象とした施設など、多様な活用策が検討できる可能性を秘めております。</p> <p>これまでの検討の中では、スポーツ合宿施設としての活用案も挙げられており、いただいたご意見の趣旨も踏まえつつ、跡地がまちづくりにおける重要な拠点であることから、今後の検討においてもスポーツ合宿の可能性の一つの案として慎重に検討を進めてまいります。一方で、元気風呂は機能回復訓練や健康の増進に資するための施設であり、設置目的と異なる活用は検討しておらず、現時点において移転の計画はございません。</p> <p>なお、民間意向調査において現時点で具体的な活用意向は確認できなかったことから、旧安芸中学校跡地の活用については、インターチェンジ整備の状況等を踏まえ、5年後を目途に改めて、多面的な活用策の検討を再開してまいります。</p>
11	旧市庁舎	<p>各施設の年間利用者数が公表されていますが、会議室など諸室ごとに利用者数や使用時間等がわかれば、より無駄のない施設計画が可能と思われます。</p>	<p>ご意見を踏まえ、今後公表予定である、旧市庁舎跡地活用に関する実施方針などでお示してまいります。</p>

番号	跡地施設	意見(趣旨)	市の考え(案)
12	旧市庁舎	金利コストを減らすためにも市は、国庫補助金を除く部分の施設整備費についても単費でも可能な限り支払いできるように検討して下さい。	ご意見のとおり、市の自己資金(単費)で可能な限り支払いを行うことにより、借入金利の負担を減らす効果が期待されます。 一方で、本市の財政状況は健全であるものの、将来的な人口減少による税収減や公共施設の維持・更新にかかる財政需要の増加など、依然として課題を抱えております。 このため、旧市庁舎跡地の活用にあたっては、民間活力を活用したPFI手法の導入を検討しており、財政負担の平準化を見込んだ計画として取り組んでまいります。また、施設整備に際しては、国庫補助金や起債による有利な資金調達なども活用し、財政負担の軽減に努めてまいります。
13	旧市庁舎	導入機能を鑑みますと、駐車場が少なく不足及び交通渋滞など懸念されると思います。立体駐車場等の検討も必要かと思えます。	駐車場の確保については、市庁舎移転前まで職員駐車場として使用していた、税務署東隣接の市有地(87台分)を専用駐車場として活用することを検討しております。 あわせて、旧市庁舎跡地の敷地内にも、30台以上の駐車スペースの確保を目指しております。 効率的かつ安全な駐車場の確保は重要な課題であることから、今後のプロポーザル方式による民間提案において、限られた敷地を有効活用する案についてもご意見を募集してまいります。
14	旧市庁舎	商業機能においては、テナントの災害対策をきちんと行わなければ店は難しいと思われるため、ピロティありでの計画がよいと思えます。	ご意見として承り、今後の検討の参考とさせていただきます。 ピロティ整備は一案として有効と考えられますが、商業店舗や交流施設が通りに面して配置できないことによる、角地を活かした賑わい創出への影響は懸念事項として認識しております。このため、ピロティ整備については、現時点では慎重な判断を要すると考えております。 一方で、PFI手法による民間提案において、ピロティ整備を行ったうえで、賑わい創出につながる活用方法(例えば、浸水深2~3mのL1想定したピロティの整備や、部分的なピロティ構造の導入など)や、コスト面での効率化などをご提案いただければ、多角的な観点から総合的に判断したいと考えております。
15	旧市庁舎	R階の民間提案は可能でしょうか。	お見込みのとおりでございます。 本事業では民間の創意工夫を最大限に活かし、より良い活用方法をご検討いただければと考えております。 一方で、旧市庁舎跡地は津波浸水想定区域に位置していることから、民間提案を行う場合は、防災機能を損なわないことなど、ご提案いただく際に考慮いただくことで検討の余地があると考えております。
16	旧市庁舎	多世代交流によるにぎわい創出が根底にありますが、安芸市の中心地である本計画に安芸市の機能を新たに計画されることはありますでしょうか。	現状としましては、ハード整備としては基本計画に掲載している機能を中心にした整備を検討しております。 一方、ソフト事業については現在検討段階ですが、今後、地域事業者との連携や新たなアイデアの導入により、必要に応じて計画に反映する可能性があります。
17	旧市庁舎	導入機能において民間の独立採算の運営は難しいと思われそうです。指定管理や混合型にすることで持続可能な運営が可能になると考えます。	ご指摘のとおり、民間意向調査においても、商業機能の実施可能性については、「収益性の確保に懸念がある」という意見が多く寄せられています。 特に、低廉な家賃設定や退店リスクの緩和など、実施内容・規模に関する民間への配慮が求められていることから、独立採算での運営を必須とはせず、官民双方のリスクを適切に分担する方法を柔軟に検討し、事業全体の持続可能性を高める手法について、慎重に検討してまいります。
18	旧市庁舎	SPC設立及び金融機関からの資金調達が必要な場合、金融機関との協議も必要になるため、公告から提案書提出まで最低6ヶ月はないとプラン検討及びコスト算出に十分な時間を確保できません。また、事業者選定から仮契約までの期間についても少なくとも2ヶ月は確保して下さい。	ご意見として承り、今後の検討の参考とさせていただきます。
19	旧市庁舎	10頁目に、本基本計画案と安芸市中心商店街等振興計画(令和4~6年度)との関連性を記述されていますが、すでに第2期安芸市中心商店街等振興計画(令和7年度~11年度)の取り組みが開始されています。本基本計画案は、令和13年1月複合施設開業に向けてのものであることから、第2期安芸市中心商店街等振興計画との関連性を記述されてはいかがでしょうか。 第2期安芸市中心商店街等振興計画では、『安芸市が進める「旧庁舎跡地活用策」と連携をとりながら取り組んでいくこと』が言及されています。 なお、原案のままであれば、赤枠で囲まれた共通認識が、「旧市役所庁舎及び市役所庁舎及び旧市立安芸中学校跡地活用 基本構想(令和6年3月)」と異なっていますので、確認願います。	ご指摘のとおり、第2期安芸市中心商店街等振興計画との関連性や、基本構想との共通認識について修正を行いました。 修正した計画案は、改めて市のホームページに掲載いたします。
20	旧市庁舎	旧庁舎跡地の整備、管理運営をPFI方式で実施することに賛成しますが、PFI採用のデメリットはありませんか。 また、安芸市にPFI方式の実例がないため、公募～契約にあたってのアドバイザー業務を発注されることは理解できますが、次回、PFI事業を実施するときには、職員が自前で実施できるくらいの姿勢で、業務ノウハウを取得・蓄積されることを切に願います。	ご意見として承り、今後の検討の参考とさせていただきます。 PFI手法には、民間ノウハウの活用や事業費縮減が期待できるメリットがある一方、維持管理・運営を一括発注する長期事業であるため、サービス水準の維持や経営状況の安定が課題となる場合があります。 これに対し、本市ではサービス水準や経営状況についてモニタリングを行い、公共サービスの安定供給が確保できるよう対応してまいります。
21	旧市庁舎	本パブリックコメントの募集に加え、今後、市民団体との意見交換を実施されるスケジュールになっていますが、どのような実施方法を検討されていますか。 開催日時、場所等をはやめに広報いただき、市民が傍聴できるような方法でお願いいたします。 また、会場に行けない市民のために、Webで見られるような配慮(インターネット議会中継のイメージ)もお願いいたします。	地域事業者・団体関係者による旧市庁舎跡地活用に関する意見交換会については、ワークショップ形式で開催いたしました。自由に意見を出しやすい環境を確保するため、非公開にて実施いたしました。 過去の経緯として、令和2年度に立ち上げた跡地活用検討委員会におきまして、傍聴可とする全面公開で開催していたところ、出席委員から自由に発言することが難しいとの声が多数あり、一般傍聴は休止した経過がありました。 今回のワークショップでは、地域事業者・団体の皆さまが連携主体となり、新たな取組やアイデアを活発に議論し、地域一体となった賑わい創出につなげていくことを目的としていたことから、ご意見を発言しやすい環境の確保に努めた結果となります。ご理解のほどよろしくお願いたします。

番号	跡地施設	意見(趣旨)	市の考え(案)
22	旧市庁舎	商業施設として「カフェ・ショップ」が例示されているが、地元食材を使った飲食店(レストランを想定)も可能なれば、ホテル直営または単独事業で前向きに検討したい。 また、ショップが「地元農産物や食料品を扱う物販(安芸ちばさん市場をイメージ)」であるならば、当市場とは異なるホテル調理物を提供して出品を検討したい。 跡地利用計画の官民複合施設であるが、計画は9割近くが移設集約する公共施設で構成している内容では、国道沿いのビジネス優位性を全く活かさないで地域経済活性化には商業施設の面積を1階の路面店としてもっと増やすべきではないか。カフェでは付属おまけ施設でしかない。	ご意見として承り、今後の検討の参考とさせていただきます。 旧市庁舎跡地における民間商業機能については、これまで「カフェやショップ等」を例示してまいりましたが、ご提案のような「飲食機能」や「物販」は、市民からの需要も強く、民間と連携した事業効果の向上という観点において、本計画の活用方針に沿っていると考えております。 一方で、民間企業への意向調査では、将来的な商圏人口の動向や、地域の既存事業者への影響など、配慮が必要であるとの意見も多くいただいております。このため、現時点では小規模な商業機能を想定しておりますが、ご提案のように地域全体のにぎわいや経済活性化に大きく寄与する取組については、その実施規模や配置場所、内容を含め、民間提案も踏まえながら柔軟に検討してまいります。
23	旧安芸中学校	基本計画(案)P49～にある民間意向調査の実施結果で、『立地性や商圏人口から民間で独立採算の事業実施は困難である』と実現可能性がかなり低い現実的な意見があり、「安芸道路の安芸中IC(仮称)開通時期の判明次第で「後年度に再検討で5年後を目途」という時間軸は、旧市庁舎の供用開始予定である令和12年度以降としているが、10年先かもしれないIC開通を待つことで自然損耗による老朽化で死活してしまふ。後年度検討に先送りせずに、例えば3年以内にIC利用のビジネス要素を前提としない「移住・定住」を目的とした既存校舎を住宅施設への改築やグラウンドに市営住宅の建設等で基本方針の再設定を進めた方が、県東部拠点都市の安芸市に社会増効果が得られて、県全体の人口減少も緩やかになるのではないかと。	旧安芸中学校の立地といたしまして、高規格道路のインターチェンジが近接地に整備されるなど、新たに市外からの多くの人が訪れ、活力ある場所となるような役割が期待される拠点となっております。 また、民間意向調査におきまして、旧安芸中学校跡地活用に対して厳しいご意見をいただいておりますが、一方で、旧市庁舎跡地よりも商業機能としての活用可能性は高く、安芸中インターチェンジの整備時期が見通せるようになれば、スポーツやビジネス、また商業機能や子育て世帯を対象とした遊戯施設の整備など、様々な活用策が挙げられております。 今後、将来人口や商圏人口の動向、延伸する高規格道路など、まち全体の変化を踏まえながら、旧安芸中学校の立地特性を最大限活かした活用策について、慎重にかつ柔軟に検討を進めてまいります。
24	旧市庁舎	地震・津波等の災害の避難場所とする。 南海トラフ地震に発生する、「津波」に強いといわれるピロティ方式で、津波の浸水方向等も考慮した建物を建設し、防災機能を備えた、本町地区の市民の災害避難場所の中心とする。 その他、図書館、女性の家、ホール、コミュニティや地元商店と共同した食堂(レストラン)施設等、多くの市民や団体が、日常的に気楽に集える場所とする。	ご意見として承り、今後の検討の参考とさせていただきます。 現時点ではピロティ整備は一案として有効と考えているものの、ピロティ化による懸案事項として、商業店舗や交流施設が通りに面して配置できないことによる角地の活用方法や、コスト面での増加が挙げられることから、慎重な判断を要すると考えております。 一方で、市内外から多くの施設利用者が見込まれることから、津波浸水区域である点も踏まえ、屋外避難階段の設置や災害対応マニュアルの整備など、防災対策に配慮した安全・安心な施設を目指しております。 今後は、PFI手法による民間提案において、防災上合理的な設計を確保しつつ、1階の開放性を高めるなど、多角的な観点から総合的に判断し、「多世代交流」に「にぎわい」「日常性」といった施設整備の基本理念を実現できるよう検討してまいります。
25	旧安芸中学校	基本的に現在の建物、施設を残して利用する。 団体の宿泊施設(スポーツ、芸術等の合宿)、四国遍路等の民間の宿泊施設(民泊施設)、各種グループの利用できる(いまの女性の家のような)場所、子ども食堂を発展させた、大人(老人)と子供の料理教室等「食」の教育施設、グラウンドでの野外キャンプ体験、水泳教室、夏祭りなどの野外イベント会場	ご意見として承り、今後の検討の参考とさせていただきます。 旧安芸中学校の活用にあたっては、既存の運動場・体育館・プール等を引き続き活用するとともに、市民からも運動場や教室の一部利用などの要望をいただいております。 これらを踏まえ、現在の施設管理規定を勘案しながら、使用開放のあり方を検討し、市民サービスの向上につなげてまいります。
26	旧市庁舎	建物の設計について: 地方において施設の多機能化複合化をせざるを得ない状況は理解できます。その中で相反する要求を持つ施設を組み合わせるために施設として“帯に短し褌に長し”な構成となったり、動線の悪い設計、どこの都市にもありそうな表情のないファサードとならないよう、十分な時間をかけた設計検討を願います。また災害対策を重視するならばそもそも浸水区域外に立地すべきであり、この場所では日常の賑わい創出を重視して割り切った設計とすべき。	ご意見として承り、今後の検討の参考とさせていただきます。 旧市庁舎跡地については、民間活力を積極的に活用し、魅力的で誰もが親しみを覚える施設整備を目指してまいります。施設整備後も、地域活性化や新たな魅力創出につながる運用方法を検討し、日常の賑わいを重視したまちづくりに取り組んでまいります。 また、公共施設として、多様な世代が安心して利用できるよう、防災対策の整備は不可欠であり、中心市街地の住民にとっても安全性を高める機能として重要であると考えております。
27	旧市庁舎	子育て支援機能について: 県東部では子供が過ごせる屋内施設が少なく非常にニーズはあります。ここに特徴を出して、たとえば木育に特化するなどの工夫で市外からの集客、一定の収益化(有料化)も見込めると考えます。これは地域材利用や林業政策にも関連し、単なる内装木質化ではなく安芸市流域森づくり構想と連動した環境教育等にもつながる独自の企画と、コンテンツの充実を希望します。	ご意見として承り、今後の検討の参考とさせていただきます。 旧市庁舎跡地における子育て支援機能については、特色ある取り組みや地域資源の活用を通じて、魅力的で誰もが親しみを覚える施設整備を目指してまいります。 また、民間活力を活かしたPFI手法による事業発注を検討しており、優れた民間提案(例えば、木育などの特色あるコンテンツや地域材の活用、環境教育との連動など)を取り入れながら、魅力的で持続可能な施設づくりを進めてまいります。
28	旧市庁舎	その他施設の跡地について: 施設の統合に伴い、続いて必然的に図書館、市民会館、女性の家の跡地活用が課題になりますがどのようにお考えでしょうか。市庁舎跡地活用単体の方針ではなく、安芸市としてまちづくり全体のグランドビジョンを同時に示していただきたいと思っております。	本市では、公共施設の老朽化や人口減少による利用需要の変化、財政状況の厳しさといった課題に対応するため、公共施設等総合管理計画に基づき、「最適な総量管理」と「複合化・集約化、及び管理運営の効率化」を基本方針としております。 この方針のもと、市民会館、図書館、女性の家の3施設は、築後相当の年数を経て老朽化や耐震性の課題が顕在化していることから、これらの機能を旧市庁舎跡地に整備する新複合交流施設へ集約する方向で検討を進めております。 施設の解体も視野に入れつつ、跡地の活用方法についても検討してまいります。 跡地の活用案としては、近隣の市民体育館の駐車場や、新複合交流施設の付帯駐車場候補地としての利用など、公共施設の土地・空間を有効活用することで、まち全体の機能再編や拠点再構築に資する土地利用の最適化を目指します。 単に建物を更新するだけでなく、老朽化した個別施設の統廃合と跡地活用を一体的に進めることで、限られた財源の中でも市民サービスの維持・向上を図り、持続可能なまちづくりの推進につなげてまいります。